

令和7年度 志津川自然の家主催事業

「サマー・チャレンジin南三陸」

今年も「サマー・チャレンジ in 南三陸」に県内各地からたくさんの応募をいただき、選ばれた28名が参加し、8月6日（水）～11日（月）の5泊6日で行いました。

その事前説明会を7月13日（日）（予備日20日）に行い、職員・大学生並びに参加者同士の顔合わせと、活動日程や持ち物の説明を行いました。参加者にははじめ緊張が見られましたが、仲間を知り、具体的な活動日程やそのための持ち物を知ることによって期待の膨らむ様子が見られました。

5泊6日の期間中、例年、厳しい暑さや海況の変化による日程変更がありましたが、今年は天候に恵まれ、予定通りに実施することができました。MAP活動に班旗作り、遠泳練習からの無人島上陸、無人島探検にシュノーケリング、いかだ遊びにバナナボート、野外炊飯に海鮮調理、市場見学にダム見学、写真立て作りに竹器作り、田束山登山に化石拾い、シーカヤックに海釣り、スタンツ練習にキャンドルセレモニー、スイカ割りに流しそうめんなど、どの活動においても、参加者一人一人がチャレンジし、仲間と協力し、自分自身の取組を振り返り、そして何よりも全力で楽しむ姿がたくさん見られました。

最終日、お迎えに来たご家族も同席する中、大学生の活動支援員や看護師に感謝の気持ちを伝える「感謝の会」を自分たちで行いました。涙を流しながら、この貴重な出会いに感謝するとともに、仲間との別れを惜しむ姿が見られました。

この5泊6日で、参加者は、数多くの体験をし、仲間と共に過ごし、頑張る自分を見つめ、大きく成長しました。本当に素晴らしい「サマー・チャレンジ」になったことと思います。

事前説明会



自己紹介タイム（7月13日）



自己紹介タイム（7月20日）

今年は、学校の夏休み前に事前説明会を実施しました。

はじめに、学年ごとに自己紹介をしました。県内各地から集まった仲間との初顔合わせということもあり、みんな緊張している様子でした。事前の宿題だった「呼んでほしい名前」や「頑張りたいこと」などを発表する自己紹介。発表した後のほっとした表情が印象的でした。

その後、「一週間どのような活動をするのか」「必要な持ち物はどのようなものか」等について説明を聞きました。館内見学では、実際に自分たちが寝る部屋やお風呂、食堂や研修室などを見て歩きました。

5泊6日、一緒に活動する仲間や、活動内容、準備物、施設の様子が分かって安心したようで、帰る頃には笑顔が見られるようになりました。いよいよ始まるという期待感が溢れていました。

第1日目 8月6日(水)



開講式



開講式(代表挨拶)



オリエンテーション



昼食



MAP(じゃんけん系)



MAP(瞬発系)



MAP(タイム計測系)



MAP(協力系)



班活動(旗作り①)



タベのつとい



夕食(片付け)



班活動(旗作り②)

一日目、開講式・オリエンテーションからスタート!!ドキドキワクワクの時間でした。
初めての昼食を終え、MAP(みやぎアドベンチャープログラム)を体験。様々な活動を通して、お互いに打ち解けて仲良くなり、あっという間に笑顔と笑いが広がりました。
その後、学生リーダーと共に、班ごとに旗作りをしました。班のめあてやチャレンジしたいことなどを書き、これから頑張っていこうとする気持ちを高めることができました。
タベのつといでは責任をもって役割を果たし、夕食でもしっかりと片付けまで行いました。
夜は一日の振り返り。個人・班で振り返り、頑張ったことやめあてを旗に書き込みました。

第2日目 8月7日(木)



遠泳練習①



遠泳練習②



シュノーケリング練習



貝殻拾い



遠泳(樁島上陸)



無人島探検(樁島)



シュノーケリング(磯観察)



洋上めぐり(えさやり)



タベのつどい(旗降納)



写真立て作り①



班活動(振り返り)



班活動(旗作り③)

2日目は、午前は、ライフジャケットやシュノーケル合わせをしてからの遠泳練習でした。中には泳ぐのが苦手と言いながら、海に自分から飛び込むまでに自信をつけた友達もいました。

午後は、無人島上陸のための遠泳開始。無事に全員が泳ぎ切りました。後藤一磨さんを講師に、樁島の歴史や天然記念物となっているタブノキについて学びながら探検を行いました。樁島周辺でのシュノーケリングでは海藻や魚を見つけて海の中を満喫しました。その帰りも船まで遠泳。そして戻る船上で、海鳥にえさやりをしました。集まる海鳥にみんな大興奮でした。

夜は、午前中に拾った貝殻を張り付けたり、絵を描いたりしての写真立て作り。焼きごてやグルーガンなどあまり使ったことのない道具を使って、丁寧に仕上げました。そして、前日に続き、個人で振り返り、班内で発表し合い、認め合い、頑張ったことやめあてを旗に書き込みました。

第3日目 8月8日（金）



南三陸町地方卸売市場見学



いかだ作り①



いかだ作り②

いかだ遊び



バナナボート

写真立て作り②

野外炊飯（飯ごう・かまど）



海鮮調理（ホタテむき）

海鮮BBQ

班活動（振り返り）

3日目は、早朝から南三陸町の卸売市場に行き、志津川湾の魚介類やせりを見学しました。午前は、班ごとに協力していかだを作り、できたいかだで海に漕ぎ出しました。さらにサプライズのバナナボートでは、歓声や悲鳴を上げながら全身で海を楽しみました。午後は、世界に一つだけの写真立てを仕上げ、野外炊飯へ。初めての飯ごうや火起こしに挑戦。海鮮調理は、ホタテをむいてエビに串を刺しました。そして海鮮BBQで美味しく食べました。夜は、お世話になった看護師さんへの内緒の色紙作り。一人一人が気持ちのこもったメッセージを書きました。続いての班活動（振り返り）と同時進行での洗濯・洗濯物干し・取り込みを行いました。初日に覚えた洗濯の流れを守り、毎日、部屋ごとに声を掛け合っていました。

第4日目 8月9日(土)



田束山登山

田束山登山(頂上)



山頂から太平洋を望む

看護師さんへの感謝

払川ダム見学①



払川ダム見学②

化石拾い



竹器作り

班活動(振り返り)

4日目は、午前は田束山(512m)登山。天候に恵まれて暑過ぎず、沢水の音やセミの鳴き声を聞きながら、木陰を登りました。足場の悪いところを通るときは互いに声を掛け合いました。後半、疲れた仲間の荷物を持ったり後ろから押したりと、仲間を思いやる姿がすべての班で見られました。途中、道を間違えた班もありましたが全員が山頂まで登り切りました。その山頂で、達成感に包まれながら見た太平洋は、どこまでも続き、自然の雄大さを感じました。

そして、お世話になった看護師の三浦さんとの別れ。色紙とともに感謝の気持ちを伝えました。夜は、世界に一つだけの竹器を作りました。のこぎりに小刀、やすりを使って仕上げました。そして、班活動(学生リーダーへの色紙作りとスタンツ練習・・・)。洗濯も頑張りました。

第5日目 8月10日(日)



シーカヤック



海釣り

スイカ割り



発展的な海活動(海岸散策)

発展的な海活動(飛び込み)

発展的な海活動(水上バイク体験)



キャンドルセレモニー

5日目は、午前は、シーカヤックと海釣りをしました。初めてのシーカヤックで竹島を一周しました。海釣りでは、エサのアオイソメに悪戦苦闘する様子もありましたが、タナゴにカレイ、ハゼにフグ、カニまでも釣りました。釣れなかった仲間は、リベンジを口にしていました。

午後は、発展的な海活動として、磯観察に海への飛び込み。そしてサプライズの水上バイク体験をしました。海洋活動最後の日でもあり、思う存分に海を満喫しました。

夜は、キャンドルセレモニー。第一部は厳かに火の神火の子から火をいただき、燭台に点火。第二部は準備してきたスタンツで大盛り上がり。最後は、学生リーダーとのダンスで心も一つに。第三部は落ち着いて振り返り。友情・感謝・健康・努力・希望の火を心の中で成長させよう。

第6日目 8月11日(月)



朝のつどい(旗掲揚)



活動のまとめ(作文)



流しそうめん(昼食)



感謝の会(スライドショー)



感謝の会(看護師さんへの感謝)



感謝の会(学生支援員への感謝)



閉講式



閉講式(代表挨拶)

6日目は、午前は活動のまとめとして、文集用の作文でした。一人一人が集中して、前日までの5日間を振り返って、チャレンジしたことや仲間のことを用紙いっぱい書き表しました。

昼食は、サプライズの流しそうめんを行いました。自作の竹器につゆを入れて、流れてくるそうめん、トマト、ちくわ、スモモなどをいただきました。

ご家族も参加して始まった感謝の会、はじめに活動の様子をまとめたスライドショーを上映しました。仲間と保護者と一緒に振り返った後、看護師さんと学生リーダーに、丁寧に仕上げた色紙と自分の言葉で感謝の気持ちを伝えました。たくさんの笑顔と涙があふれる時間になりました。

閉講式。所長と代表の挨拶にありました、『海や山、生活面での経験』をし『6日間を過ごした仲間』と共に成長した子どもたち。今後もチャレンジし、成長することを楽しみにしています。



<志津川自然の家～！！>



<田束山での集合写真>